



2018年3月期第1四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2017年8月3日

2018年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社

常務執行役員 IR・広報室担当

北畠 一明

2017年8月3日

海外売上の二桁伸長が牽引し大幅な増収増益を達成

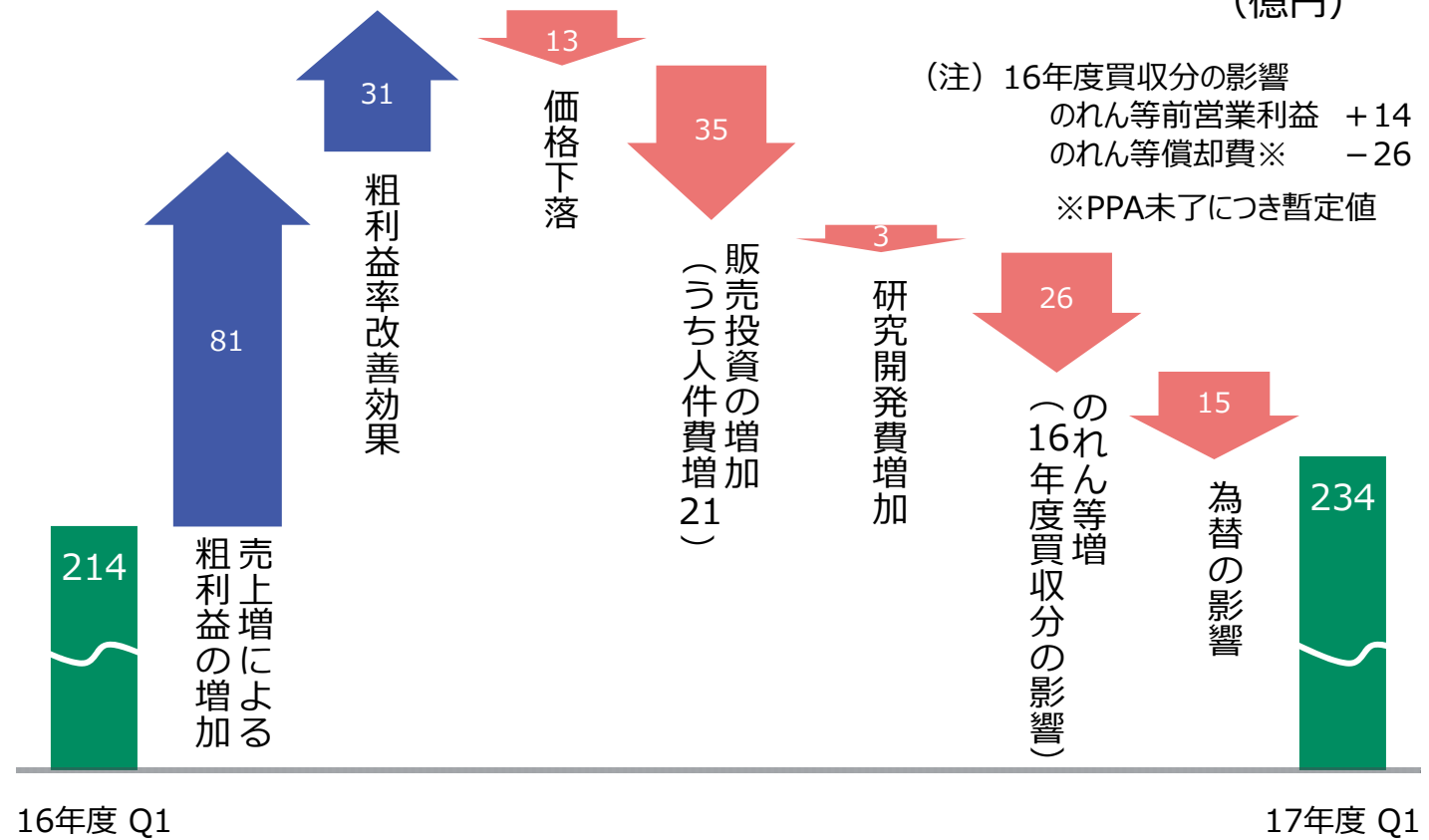
(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減率	為替除く 増減率
売上高	1,245	1,393	+12%	+11%
粗利益	692 (55.6%)	783 (56.2%)	+13%	+15%
一般管理費	397 (31.9%)	464 (33.3%)	+17%	+15%
研究開発費	81 (6.5%)	85 (6.1%)	+5%	+4%
営業利益	214 (17.2%)	234 (16.8%)	+9%	+17%
(のれん等償却除く)	259 (20.8%)	306 (22.0%)	+18%	+24%
経常利益	151 (12.1%)	227 (16.3%)	+50%	
純利益	101 (8.1%)	163 (11.7%)	+61%	
期中平均レート	USD 108円	111円		
	EUR 122円	122円		

- 売上高 : 心臓血管の全事業が二桁伸長し全体を牽引
- 営業利益 : 大幅な売上増に加え、粗利益率が改善
- 経常利益 : 前年同期の為替差損 (55億) に対し、今年度は差益 (2億)
- 純利益 : 内外子会社の税効果適用範囲拡大による法人税負担率の減

営業利益増減分析

(億円)



地域別売上高

17年度Q1
16年度Q1

売上高		売上額前年比較		
100% = 1,393億円		金額(億円)	増減率	コメント
32%	日本	449	-1%	ホスピタルのマイナス伸長を心臓血管でカバーするもトータルで微減
		455		
20%	欧州	277	+12%	心臓血管の全事業で二桁伸長し、全体を牽引
		247	(+12%)	
30%	米州	411	+25%	血液システムが回復基調に戻ったことに加え、心臓血管の全事業が大幅伸長
		329	(+21%)	
7%	中国	102	+22%	全てのカンパニーで二桁伸長
		84	(+23%)	
11%	アジア他	153	+18%	心臓血管の全事業と血液システムが二桁伸長
		130	(+15%)	

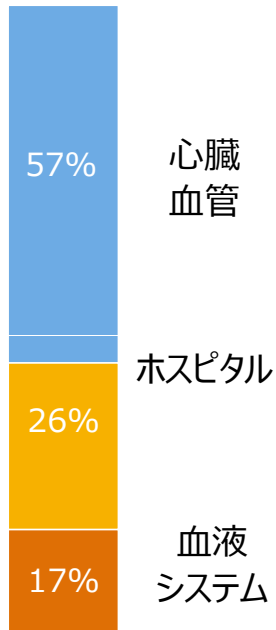
() 内は為替影響除く

カンパニー別売上高

17年度Q1
16年度Q1

売上高

100% = 1,393億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 17年度Q1: 791 16年度Q1: 637	+24% (+22%)	買収した製品は順調なスタート。既存事業も堅調に推移し、全事業で二桁伸長達成
ホスピタル 17年度Q1: 369 16年度Q1: 384	-4% (-4%)	医療器における代理店の在庫調整に加え、ポンプの買い控えも影響
血液システム 17年度Q1: 233 16年度Q1: 224	+4% (+3%)	米国新価格の影響は一巡。アジア・中南米の血液センター向け製品、および、アフェシス治療が牽引

心臓血管：全事業で売上が二桁伸長。増収増益を達成

(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	637	791	+24% (+22%)	為替の影響	+11
				TIS : アクセスが引き続き好調	+13
				ニューロ : ハイドロコイルと吸引カテーテルが牽引	+14
				CV : 海外中心に二桁伸長	+10
				買収による増加	+95
事業利益(率)	195 (31%)	206 (26%)	+6% (+14%)	売上拡大により増益達成	

ホスピタル：収益性の改善基調続く

(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減率	主なトピック	金額	
() 内は為替影響除く						
売上高	384	369	-4% (-4%)	為替の影響	+2	
				医療器	: 代理店の在庫調整に加え、ポンプの買控え	-6
				医薬品・栄養	: 透析用生食のバック供給終了	-2
				ヘルスケア	: 血圧計等、アカウントの整理	-3
				アライアンス	: 製薬企業の発注タイミングの違い	-3
事業利益(率)	52 (14%)	57 (15%)	+9% (+10%)	事業利益率の改善基調継続		



7/10

血液システム：成長基調へ回復。収益性の改善基調続く

(億円)

	16年度Q1	17年度Q1	増減率	主なトピック	金額	
() 内は為替影響除く						
売上高	224	233	+4% (+3%)	為替の影響	+2	
				血液センター	: 中南米・アジアが二桁伸長	+6
				アフェリシス治療	: 海外中心に伸長	+4
事業利益(率)	27 (12%)	35 (15%)	+30% (+47%)	血液センター向け製品の物量増加に加え、収益性の高いアフェリシス治療が拡大したことにより増益		



8/10

主なトピックス

全社

■ 新経営体制スタート



■ 胸部・腹部ステントグラフト、米Bolton Medical社の買収完了を発表（4月）



事業

■ 愛鷹工場内に、「TIS Mastery Center」を開設、カテーテル開発の促進・強化（5月）



■ 薬剤充填用注射器「PLAJEX」を容器とし受託製造をするバイオシミュラー、欧州において承認申請（5月）



9/10

17年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品		地域
心臓	PTCAバルーン		米
ペリフェラル	ステント(TRI)	★	日・米・欧
	PTAバルーン(TRI)	★	日・米・欧
	PTAガイドングシース(TRI)	★	日・米・欧
	薬剤塗布バルーン	◎ ★	欧
	塞栓コイル	◎	欧
脳	プロテクションデバイス		済み
	ハイドロコイル3D		欧米：済み 日：Q2予定
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ	★	欧

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

領域	製品		地域
CV	人工心肺装置(再出荷)	◎	済み
	次期・人工肺	◎	グローバル
医療器	縦型・輸液ポンプ		日
	抗がん剤暴露防止システム		済み
DM	パッチ型・インスリンポンプ	★	日
血液	次期・成分採血装置ソフトウェア		グローバル



薬剤塗布バルーン「Kanshas」欧



人工心肺装置再ローンチ グローバル



パッチ型インスリンポンプ 日



10/10

2018年3月期 第1四半期決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2017年3月期 第1四半期累計			2018年3月期 第1四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	9,161	35,770	44,932	9,581	4.6%	46,036	28.7%	55,617	23.8%
ニューロバスキュラー	743	5,137	5,881	696	-6.4%	7,231	40.8%	7,927	34.8%
CV	2,410	7,170	9,580	2,551	5.9%	8,198	14.3%	10,750	12.2%
血管	474	2,831	3,305	662	39.8%	4,098	44.8%	4,761	44.1%
心臓血管カンパニー	12,789	50,910	63,699	13,491	5.5%	65,566	28.8%	79,057	24.1%
基盤医療器	12,100	6,085	18,186	11,507	-4.9%	5,983	-1.7%	17,490	-3.8%
D&D	10,638	-	10,638	10,381	-2.4%	-	-	10,381	-2.4%
DM・ヘルスケア	5,092	816	5,908	4,943	-2.9%	661	-19.0%	5,605	-5.1%
ホスピタルシステム小計	27,831	6,902	34,733	26,832	-3.6%	6,644	-3.7%	33,477	-3.6%
アライアンス	2,281	1,367	3,649	2,115	-7.3%	1,275	-6.8%	3,390	-7.1%
ホスピタルカンパニー	30,113	8,269	38,383	28,947	-3.9%	7,919	-4.2%	36,867	-3.9%
血液システムカンパニー	2,499	19,888	22,387	2,422	-3.1%	20,911	5.1%	23,333	4.2%
その他	49	-	49	53	9.2%	-	-	53	9.2%
計	45,451	79,068	124,519	44,915	-1.2%	94,397	19.4%	139,312	11.9%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥108.04)
(EUR1=¥121.88)

(USD1=¥111.09)
(EUR1=¥122.26)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2017年3月期 第1四半期累計	2018年3月期 第1四半期累計
営業キャッシュ・フロー	10,394	15,634
投資キャッシュ・フロー	△ 6,694	△ 8,854
フリーキャッシュ・フロー	3,699	6,780
財務キャッシュ・フロー	22,636	12,043
現金及び現金同等物の換算差額	△ 8,680	345
現金及び現金同等物の増減	17,656	19,168
現金及び現金同等物の期首残高	146,927	105,046
現金及び現金同等物の期末残高	164,583	124,215

参考情報

	2017年3月期 第1四半期累計	2018年3月期 第1四半期累計	2018年3月期 見通し
研究開発費	8,080	8,464	41,000
設備投資額	6,062	8,905	46,500
減価償却費	10,662	13,753	56,000
一株当たり当期純利益(円)	27.86	46.28	150.58

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。